

第1子を一般不妊治療により妊娠・出産した第2子不妊患者の治療の検討

1人目を一般不妊治療（タイミング法、人工授精法）で妊娠した方は、2人目も同じ治療を希望される傾向にあります。しかし、妊娠に至らず治療が長期化する場合や、体外受精へステップアップとなる場合も少なくありません。そこで今回、1人目を一般不妊治療で妊娠した方を対象に、2人目不妊治療の検討を行いました。検討の結果、2人目の治療開始年齢が高齢である程、一般不妊治療での妊娠が難しくなることが分かりました。しかし、若年であっても、卵巣の機能や精子の状態が1人目を出産した時から大きく低下している場合には、早めに体外受精へステップアップすることで早期妊娠に繋がりやすいことも分かりました。よって、2人目が中々出来ないと感じた方は、加齢による影響を考慮して頂き、出来るだけ早めの治療再開をお勧めします。今後も検討を続け、患者様のお役に立てるような情報を提供出来たらと思います。